流剣 Ryu-ken
流山市剣道連盟広報誌
http://ryukenren.com/
発行人 昆野雄三
流山市剣道連盟事務局
矢幡哲夫(☎7153-8383)
編集委員 宮崎聖弘・野原郁男・田中米秋・南雲嘉弘・及川信一（組織図順）
2021
7.10
No.51

特集

八段合格者

齊藤親一先生

八段審査会合格にあたって

齊藤親一

令和三年五月一日、京都市で行われました八段審査会におきまして、お陰様をもちまして合格いたしました。千葉県剣道連盟、流山市剣道連盟、流山市剣道連盟東支部、流山市剣道連盟高齢者剣道教室の皆様には稽古で様々な教えをいただき、関係者の方々に温かい励ましのお言葉を賜りましたことに深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

昭和四十三年七月一日、小学校一年生で東支部に入部し小久保正路先生から「先々の先」を教わりました。中学、高校、大学と公私ともに尊敬する師に出会い「中心を攻める剣道」を目指しました。その後も、よき縁に導かれながら稽古の場に身をおける環境に恵まれました。そして、コロナ禍において感染症対策を講じながら手探りの稽古がつづきました。感染症に打ち勝つには、強靭な免疫力が必要です。足腰の鍛錬、体質の改善、栄養と休養のバランス、何よりも前向きな稽古への姿勢を重視しました。私の弱点は左拳の納めが定まらないこと。以前より指摘されていたことを受け入れて「真っ向勝負」を目指しました。審査会当日、「今日もいい稽古をしよう」と心に決めました。自分にとっての「真っ向勝負」とは何か。正々堂々と構え攻め、相手がどのようにこようとも、己の打ち間に入り突きを攻めての捨て身の面。四名の方々との初太刀は全て面に出ました。自分の発する声と放った打突音しか聞こえませんでした。冷静に相手との間を測りながらも心は裂帛の氣を発していて、まるで稽古をしている心境でした。審査会を終え恩師に習った技を顧みながら、いい立会いができたか反省し、まだまだ至らない自分を痛感しました。「稽古とは一より習い十を知り、十よりかえるもとのその一」千利休。常に十を目指し、初心にかえり稽古したいと思います。今後とも、ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第50回 流山市民剣道大会
流山市剣道連盟

第50回 流山市民剣道大会

齊藤親一先生 八段合格 おめでとうございます。

今回コロナ禍厳しい審査状況の中、合格率０．３７％超難関を制しこの偉業を達成したことは素晴らしい事であり、流剣連会員の慶びであります。

先生は平成４年「第４０回全日本剣道選手権大会」に千葉県代表として出場、当時私も有志として日本武道館に応援へ行ったことを覚えています。又流山代表選手として大会等でも優勝し輝かしい活躍していることは周知の通りです。今後も一層のご指導をお願いしたいと思います。

流山市剣道連盟会長
昆野雄三

七段昇段審査合格にあたって

松田俊郎

中学校入学と同時に兄の後を追うようにして始めた剣道。途中何度か中断した時期もありました。それでも今なお続けられているのは剣道仲間がいるからです。本当に有難いことです。

これまでの段位取得の履歴を振り返ってみますと、初段（中学）、二段と三段（大学）、四段（48歳）、五段（55歳）、六段（63歳）、そして令和二年十一月、東京武道館の七段合格が七十一歳です。

受審に当たって準備したこと。

①正しい姿勢を保つ体幹トレーニング。

②手ぬぐいを丸めて小指、薬指、中指の運動。

③木刀（小太刀）で手首の運動。

これ等はテレビを見ながらでも出来ます。

受審では、無心で〝攻めの剣道〟です。

「稽古照今」という言葉があります。昔からの教えを学び今に照らし合わせ、創意工夫しながら進んでいく、という意味です。剣道は日本の伝統文化であると同時に体育競技でもあります。医・科学の進歩に沿って運動の仕方、考え方も変わってきます。正しく学び研鑽してこれからも剣道修養に努めたいと思います。「剣道は人間形成」です。

事務局便り

各審査会などの結果をお伝えします。

称号審査合格者

錬士 後藤末勅（十一月二十四日）

八段

齊藤親一　五月一日

七段

松田俊郎　十一月二十四日
岩切信之　五月十五日

六段

鈴木茂徳　二月二十一日

五段

君島久夫　十二月十二日

四段

伊藤博己　十二月二十六日
蒲生大樹　三月二十一日
青木徹　三月二十一日
大久保将俊　三月二十一日
後藤浩　三月二十一日

三段

赤上流羽
泉山貴仁
齊藤爽良
拝原茉倖
袴田純汰
袴田芳郎
畠山蒼士
松尾海利
松本聖

二段

浅井優芙
阿部晃紀
一瀬佳音
祝迫美晴
荻生錬
小原京
小池真央
甲田千夏
小林玄人
佐藤優奈
須賀亮介
田中陽己
千葉春佳
遠山紅華
中村七海
拝原大悟
春山佳澄
平井神那
藤塚稜太朗
松井穂佳
室屋憲伸
安本隼
山吹文乃
横瀬友佑
米林ちまり
渡部るり

初段

荒井美来
飯田茉莉
五十嵐さえ
石井和彩
石井柚結
石渡翔生
磯部陽依
市川諒
伊藤可偉
入江遼
上坂郁美
上田健太郎
上野桃子
上柳尚也
梅津來叶
大久保虎汰郎
及川佑季
岡崎莉瀬菜
岡田和子
尾崎由依
笠原昊樹
香月萌那
加藤史輝
加藤美怜
熊坂実桜
小池那瑠
河野明菜
早乙女陽咲
佐々木悠葵
佐藤妃莉
塩澤正太郎
島田光
嶋田悠人
清水葵伊
東海林舞
鈴木瑛真
曽川野吹
髙田奏人
髙橋忠将
高橋海月
瀧澤晴規世
長砂知里
永瀬凛
中村匠壱
中村将人
橋本孝平
春澤さくら
日暮陽菜
福崎悠
藤塚彩音
船橋春翔
布袋田夏海
増子遼太
宮崎嵩正
村井琴美
横田那奈
吉村彩華

一級

赤津優來
秋場大知
伊藤小陽
伊藤勇輝
生井志歩
上野虎太郎
上野理江
大野創
大場美優
岡本奈菜花
尾崎希
北澤由梨奈
小池蒼眞
小泉凪
小圷惺己
近藤綾香
齋藤晴天
坂寄志龍
佐藤祐希
佐渡本孝羽
佐野創夢
山藤絢咲
嶋田遥斗
須賀雄哉
鈴木太陽
須田さくら
寿畑璃
高野優
田中修太朗
富田大一朗
鳥飼好太
西ノ園侑世
野田宗杜
幡野昂誠
廣部澪
前嶋双葉
吉永龍
和賀理央

二級

伊藤優杜
太田弥真斗
篭崎圭祐
西ノ園侑世
堀越ゆかり

三級

池田天音
岩本一樹
上野美琉
小塚咲希
佐藤祐希
鈴木良侑
曽宮さくら
山口蒼生

四級

小澤大二郎
齋藤実海
寺沢魁人
藤巻敬大

五級

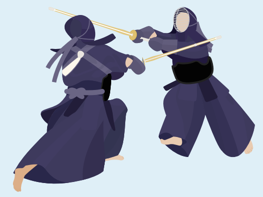
青景陽生
石塚奏多
伊藤明音
上野隼太郎
笠原陽空
勝田愛萌
倉嶋琥珀
小塚奈緒
佐々木奏祐
佐々木祐輔
佐藤岳
白岩和桜
鈴木陽太
蓮見慎一郎
平塚優
古川晃汰
森川慶祐
横澤幸太

六級

浅井柊介
衣川結基
小塚優太
須田正宗
津口晴希
西田省太
別所啓太
松村壮路
森川雄介
山口浩一朗
山田深緒

七級

碓井惺
小川千知
奥村知直
向山明希
小森日南子
齋藤勢之将
佐藤凛空
鴇田直人
鴇田悠人
関矢蒼天
友寄愛心
西川幸輝
濱野内暖
船橋玲奈
牧野姫花



編集後記

コロナ禍の下、剣道の行事が中止の連続で、題材が無く困っていたところ「50代で八段昇格達成」の知らせが届き、流剣連挙げて特集を組みました。何よりの明るいニュースとなりました。(Y.T)

編集委員
宮崎聖弘・野原郁男・田中米秋・南雲嘉弘・及川信一（組織図順）

令和二年度

卒業文集

祝 卒業

江戸川台支部

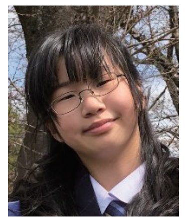
佐藤 祐希

僕は小学校3年生のころから剣道を始めました。最初のころは先生も優しく教えてくれて、楽しいと思えるけい古をしていました。しかし上の方に上がってくるにつれ、練習が厳しくなっていって剣道がいやになりました。けれども僕を支えてくれた先生や親がいたからこそがんばれました。今まで本当にありがとうございました。

江戸川台支部

吉永 龍

僕は1年生から剣道を始めて、友達と一緒に頑張ろうと思い1年が経ち、2年生になって面を付けて、低学年組に入って、長島先生にご指導いただきました。3年生になって強化練習に入って、5年生まで長島先生と中村先生に厳しい練習をしていただきありがとうございました。中学生になっても頑張ります。



江戸川台支部

小塚 咲希

私は小学校一年生の頃から剣道をはじめ、たくさんのことを学びました。その中でも一番大切なことは、あいさつだと思います。あいさつをすることで、皆が気持ちよくなり、自分も気持ちがすっきりするからです。私は中学校へ行ったら、別の道に進みますが、この学んだことを中学校でも活かすことができるようにしていきます。

江戸川台支部

西ノ園 侑世

僕は、1年生の時に父と一緒に江戸川台支部へ入りました。はじめは剣道があまり好きではありませんでしたが、4・5年生のあたりから徐々に負けたくないという気持ちが芽生え、剣道に打ち込む様になりました。剣道で頑張ったことが、自信につながっています。

今までご指導してくださった先生方、ありがとうございました。これからは、先生方から学んだことを胸に中学校で活躍します！

江戸川台支部

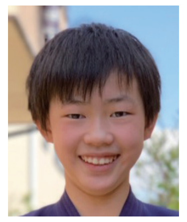
曽宮 さくら

私は、先に剣道を習っていた姉に憧れて2年生の9月から江戸剣に入会しました。初めは分からないことばかりでしたが、初心者組では基本的な動作・所作を安達先生と高橋先生がいつも優しく教えて下さいました。上級に進むにつれ楽しいことよりも辛いことの方が多くなりましたが、6年まで続けることが出来ました。楽しかった合宿や辛くて泣いてしまった稽古など全てが良い思い出です。剣道を通して学んだことを活かして中学校でも頑張りたいです。今まで支えて下さった先生方、父母会の皆様、本当にありがとうございました。

江戸川台支部

鴇田 悠人

僕は六年生の夏に剣道を始めました。緊急事態宣言などもあって、たくさん練習に参加することはできなかったけれど、剣道を始めたことで、中学校でやりたいことを見つけることができました。中学校でも、諦めずに努力し続けたいと思います。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。



江戸川台支部

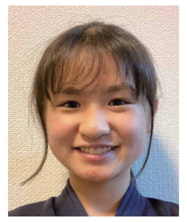
和賀 理央

僕は、一年生の途中から剣道を始めました。辛いと思うこともたくさんありましたが、仲間や家族の支えもあり、続けることができました。

剣道と共に歩んだ6年間では、礼儀を学び、感謝の心を知り、将来の夢を描くことができました。

中学生になっても、頑張って続けていきます。

今まで、ご指導くださった先生方、ありがとうございました。



江戸川台支部

廣瀬 成菜

私は2年生の4月から剣道を始めました。寒稽古や暑中稽古は辛かったけど、大会でみんなと励まし合ったり、一緒に練習できたのは楽しかったです。今年は大会が中止になってしまい、とても残念でした。中学校ではそのぶん一生懸命頑張りたいと思います。先生方、今までご指導くださりありがとうございました。

流山支部

佐渡本 孝羽

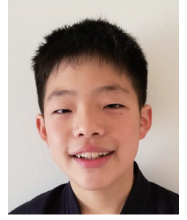
ぼくは、2年間という短い時間で、沢山のことを学びました。特に、詳しく礼儀作法を最初に教わりました。

これは、武道の基本ですが、知らないことばかりでした。それを覚え、色々なことを学び、今では、キャプテンを務めることができることができました。本当にありがとうございました。

鰭ヶ崎支部

上野 虎太郎

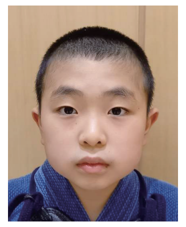
ぼくが年中から剣道を始めて学んだ事は，仲間とのきずなです。それは，自分や仲間が試合をしている時に応援をしたり，はげまし合ったり，みんなで試合をしているんだなと思える所です。自分が勝った時は，みんな喜んでくれ，すごくうれしかったです。でも，夏は暑く冬は寒いけいこはきらいでしたが，8年間，ひれが崎のみんなとけいこ出来た事はいい思い出です。ぼくは中学に行っても剣道を一生懸命やり続け3年間1位を取り続けたいです。これからも先生方，よろしくお願いします。



鰭ヶ崎支部

坂寄 志龍

僕は三年生の冬に剣道を始めました。友達はみんな防具組だったので、早く一緒にやりたくて頑張りました。防具組になってからは稽古が辛いときもありましたが、試合で勝てたときはすごく嬉しくて、あと夏の合宿はとても楽しかったです。たくさん稽古をつけてくださった支部の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。中学でも大きな声を出して稽古をして、試合で一つでも多く勝てるように頑張ります。



鰭ヶ崎支部

伊藤 優杜

ぼくが剣道で辛かった事は，冬の裸足です。道着を着る前はいつも泣いていました。それとけいこ後の早素振りです。心ぞうがバクバクして気絶するかもしれないと思いました。

剣道でうれしかった事は，錬成会で勝てた事です。勝てると思ってなかったので自分でもビックリでした。

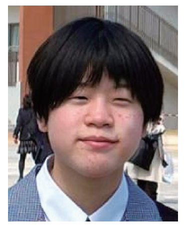
夏の合宿は，暑くてけいこがきつかったけど，みんなと花火をしたり，海で遊んだりした事が楽しくていい思い出になりました。

これからも剣道を続けて，一本でも多く取れるように頑張りたいです。

流山警察署少年剣道クラブ

須賀 雄哉

僕が剣道で学んだことは、できるまで努力をする、ということです。最初からうまくできる人は一人もいないからこそ、あきらめずに努力をするのだと、この流剣警で学びました。今までお世話になった方々、本当にありがとうございました。中学でも、剣道で習ったことを生かして、いろいろなことに挑戦し頑張りたいと思います。



流山警察署少年剣道クラブ

太田 弥真斗

僕は、年中から約8年間剣道をしてきました。きっかけは、姉二人が剣道をやっていたからです。一番つらかったことは、コロナ禍でのマスクと面を付けた稽古です。すぐに息が上がり、とても大変でした。一番嬉しかった事は、1年生の大会で三位をとった事です。あの喜びは、今でも忘れません。先生方、道場の皆、今まで有難うございました。

ご卒業おめでとうございます!